

MONTHLY

神變別冊

宗派だより

令和4年7月号



令和四年七月六日発行

発行所 真言宗醍醐派宗務本庁

京都市伏見区

醍醐東大路町二十二

電話 〇七五―五七―一〇〇〇二

「神變」別冊号の発刊にあたり

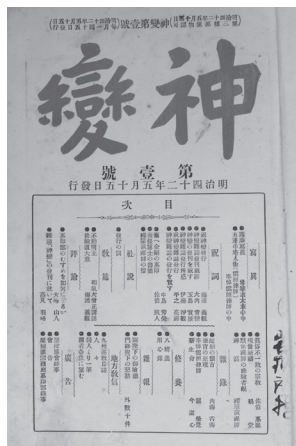
仲田 順和

明治四十二年五月十五日『神變』第一号は、海浦義観師の提唱により組織された「聖役協会」から海浦観海師の編集により刊行された。

およそ、一本山・一宗派の機関紙誌が、初刊から、その紙誌題名を変えずに発刊を続けるのは至難のわざである。『神變』には、それを容易にしてきた理由として二つの事項をあげることができる。一つには、発刊当初から、お寺・宗派とは別組織で「聖役協会」、そして後は「神變社」がこれに当たってきた事である。小規模ながらも独立し、一社の形態を整えて出版責務に当たっていただければこそである。もう一つの理由は、明治維新のもたらした「神仏分離」「廃仏毀釈」の衝撃、そして「修験道廃止令」からの立ち上がり、覚醒への思いが『神變』発刊を生み出したことにあり、この「覚醒への思い」が常に生かされ続けてきたからである。

今般、神變社では、現在の目まぐるしく変わる世情のなか、人々に少しでも安心を与えるのが寺院、教会、教師の役目であることに立返り、本庁との情報共有を密にすることに重要性を鑑み、『神變』発刊本来の趣旨に戻するため、本庁録事を中心とする別冊としての「宗派だより」と分けて新しい構成で発刊することとした。

ここに、歴代神變編集責任者、『神變』を支え続けて下さった諸兄に甚深の敬意を表するものである。限りない『神變』発行に一層のご支援を賜らんことを……。



「神變」創刊号表紙

目次

- ・「神變」別冊号の発刊にあたり 1
- ・令和四年 告示第二号 1
- ・録事 2
- ・宗派だより 3
- ・末寺・教会・醍醐寺だより 3
- ・本庁からのお知らせ 3

令和四年 告示第二号

真言宗醍醐派一般

宗教法人真言宗醍醐派規則第二章第六節及び同宗制第三章第六節の規定により、来る七月二十六日臨時宗会を宗務本庁に招集する。会期は一日間とする。右、告示する。

令和四年七月六日

真言宗醍醐派

管長 仲田順和

録事

▼宗務所移動

五月十二日
任備前宗務所所長

金剛寺

任備前宗務所副所長

成願院

任備前宗務所代議員

蓮光院
大蔵院

菅野 舜仁

高森 明道

津田 隆明

岸本 妙海

五月十六日
本宗籍

伝法学院第九十一回生

新 潟

海南 良雄

五月三日
奈良 大峰山寺

岡田 悦雄

五月一日
新 潟 大乘院

菅 洋子

渡部 恭子

五月二十六日
三重 地蔵院

佐藤 洋一

耕野 和子

五月四日
福 岡 不動院

濱本 浩士

財津 卓

中村 千歳

平野 重信

山本 浩己

福 岡

般若院

清水 國弘

五月七日
福 岡

観音寺

山縣 一枝

五月十九日
福 岡

光明寺

大原 千佳

五月二十二日
香 川

伊福寺

新名 三郎

五月二十五日
鹿兒島(直)

報恩寺

山縣 祐一

五月二十六日
三 重

地蔵院

清水 國弘

五月二十七日
香 川

利益院

山縣 一枝

五月二十七日
香 川

多聞院

山縣 一枝

五月二十七日
香 川

寶性寺

山縣 一枝

五月二十七日
香 川

薬王寺

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

普門院

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

十波羅密寺

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

上生寺

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

摩尼院

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

吉祥寺

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

密藏院

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

明王院

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

地蔵寺

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

普門院

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

真鍋 幸夫

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

前川 雅人

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

安藤 充功

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

森 富夫

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

山地 崇之

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

後藤 定

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

田中 智

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

田中 浩子

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

北村 文子

山縣 一枝

五月二十九日
香 川

北村 文子

山縣 一枝

▼承認・証明

五月三日
奈良 大峰山寺

資格証明書下付の件

岡田 悦雄

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

五月三十日
新 潟 密藏院

北村 文子

▼死 亡

五月二日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月四日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月四日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月十六日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月十六日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月十六日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月十六日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月十六日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月十六日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月十六日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月十六日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月十六日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月十六日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月十六日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月十六日
福 岡 権律師

山本 妙堤

五月十六日
福 岡 権律師

山本 妙堤

宗派だより

醍醐山伝法学院 第九十回卒業式

令和四年四月二十五日 午前十時から伝法学院本堂
卒業生 石川県 山東 霊兆

令和三年度三宝山憲深方特別伝授 終了式

令和四年四月九日 午後一時から三宝山白書院
成満者 山形県 白幡 慶全・大阪府 北村 慈孝

醍醐山伝法学院 第九十一回生入学式

令和四年五月六日 午前十時から伝法学院本堂
入学生 神奈川県 竹田 海衆・新潟県 海南 良雄

令和四年度三宝山得度式戒壇 () 内は法名

令和四年五月十六日 午前十時半から三宝山本堂
伝法学院生

海南 良雄 (良雄)

三宝山憲深方特別伝授

愛知県 萩原 敏弘(敏弘) 愛知県 吉村 典純(念峯) 高知県 松田 博(正眞)

静岡県 大嶽 心吾(心吾) 大阪府 渡邊 人常(人常) 兵庫県 田中 志保(志静)

末寺徒弟

京都府 宋 盛遠(慧悟) 大阪府 和田美千代(千覚)

末寺・教会・醍醐寺だより

カルティエ GALA EVENT

令和四年四月七日、九日、十一日に醍醐寺霊宝館にてカルティエ GALA EVENT
が開催されました。

スイス国イグナツィオ・カシス大統領来山

令和四年四月二十一日 スイス国イグナツィオ・カシス大統領一行が醍醐寺に訪問
されました。

准胝観音開扉法要厳修

令和四年五月十五日午前十時半から准胝観音開扉開白法要、十八日十時半から中日
法要、二十一日午後二時から結願法要がそれぞれ醍醐寺観音堂で厳修され、年一度の
ご開扉に多くの信者様をご参拝されました。

本庁からのお知らせ

総務部より

宗教法人の寺院・教会は、毎年会計年度終了後四月以内に役員名簿と財産目録の写
しを所轄庁(都道府県庁)に提出することとなっております(『宗教法人法』第
二十五条第四項)。

この他にも、収支計算書、貸借対照表、境内建物に関する書類、事業に関する書類
の写しの提出が必要となる場合があります(詳細は、真言宗醍醐派宗務本庁ホームページ
又は、文化庁ホームページ参照)。

宗務本庁では、これらの書類の写しを本庁にも提出いただくことを、宗教法人並び
に非宗教法人の寺院・教会にお願い致しております。

財務部より

宗費賦課金納入のお願い

各寺院・教会、本宗・修験道教師僧侶の皆様には、令和四年度宗費賦課金請求書が
届いていることと思います。宗団の運営・積極的な活動のためには欠かせないもので
す。同封の払込用紙をご利用して、お早めにお納めくださいますようお願い申し上げ
ます。

僧階昇補などの各種申請や手続きの際には、宗費賦課金の未納金がございますと
手続きすることができませんので、事前にご確認ください。

各種お支払いに関するお問い合わせは、宗務本庁財務部までお願い致します。

教学部より

少年少女の集い開催のお知らせ

令和四年八月四日、五日の一泊二日 お問合せお申し込みは本庁教学部まで

伝法教校開校のお知らせ

令和四年九月二日から九月六日まで四泊五日

お問合せお申し込みは本庁教学部まで

太元帥大法のお知らせ

太元帥大法は、世界の安寧を祈り、法を伝承していく大事な大法です。

醍醐寺理院流を伝承する醍醐寺座主・三宝山門跡が大阿闍梨を勤め、供僧十四口
にて執行致します。

令和四年十月三日開白 十月九日結願

宗務所、末寺教会の参座、参拝のご案内と詳細は別途お知らせ致します。

道場公開 令和四年十月十日から令和四年十二月四日まで

<p style="text-align: center;">和光印刷株式会社</p> <p>〒600210012 京都市上京区烏丸通上御霊前上ル TEL (075) 44115408 FAX (075) 44114982 E-mail info@wako-print.co.jp</p>	<p style="text-align: center;">杉本権七法衣店</p> <p>〒60018304 京都市下京区新町通六条下ル TEL (075) 35112890 FAX (075) 34116774</p>	<p style="text-align: center;">藤井佐兵衛</p> <p>〒60018029 京都市下京区寺町通五条上ル TEL (075) 35119363 FAX (075) 34315500 http://yamasa-bunseido.com</p>	<p style="text-align: center;">大住法衣店</p> <p>〒60418274 京都市中京区小川通三条上ル西堂町 TEL (075) 22113087 FAX (075) 22113038 E-mail oosumihoji@gmail.com</p>
<p style="text-align: center;">花谷神変堂</p> <p>〒63810431 奈良県吉野郡天川村洞川235 TEL (0747) 6410047 FAX (0747) 6410070</p>	<p style="text-align: center;">林勘法衣店</p> <p>〒60210874 京都市上京区河原町丸太町 西筋下ル東土御門町345 TEL (075) 23112244 FAX (075) 25516632 E-mail hayashikan@beachocn.ne.jp</p>	<p style="text-align: center;">奥谷組</p> <p>〒60118308 京都市南区吉祥院向田東町8番地 TEL (075) 31316533 FAX (075) 31218417 E-mail shaji@okutanigumi.jp https://www.okutanigumi.jp</p>	<p style="text-align: center;">田中伊雅佛具店</p> <p>〒60018453 京都市下京区万寿寺西洞院東入ル TEL (075) 35112584 FAX (075) 34118822 http://www.tanakaiga.com</p>
<p style="text-align: center;">松栄堂</p> <p>〒60410857 京都市中京区烏丸通二条上ル東側 TEL (075) 21215590 https://www.shoyeido.co.jp</p>	<p style="text-align: center;">今井半念珠店</p> <p>〒60510934 京都市東山区大黒町通正面南入 TEL (075) 56110307 FAX (075) 52512557</p>	<p style="text-align: center;">上田法衣佛具店</p> <p>〒60410913 京都市中京区河原町二条西入上ル TEL (075) 22113348 FAX (075) 21111858</p>	<p style="text-align: center;">井筒法衣店</p> <p>〒60018468 京都市下京区堀川通新花屋町角 (西本願寺前) TEL (075) 36510001 FAX (075) 35317021 ウェブサイト 01201075173301</p>

第54回 少年少女の集い

日 程：令和4年8月4日（木）13：00～
8月5日（金）13：00 1泊2日

対 象：小学校4年生～中学校3年生

参加費：10,000円 / 定 員： 15名（受付先着順）

※新型コロナウイルスの感染状況等により、開催中止や一部プログラムの変更が生じる可能性があります

※期間中、マスク着用など感染防止対策に沿って開催致します

●お問合せお申込は教学部まで

真言宗醍醐派公式ホームページのURLは、

<https://www.daigo.ne.jp/> です。

宗派内ページ（ログインが必要*）では、神変別冊のアーカイブ（過去号）をご覧になれ、必要書類のダウンロードもできますので、ご利用ください。

*宗派内ページへのログインパスワードは、shoubou1145 です。